

標準 12 誘導心電図検診判定マニュアル（2023 年度版）の追補

2022 年 12 月 26 日に公開（12 月理事会承認）された標準 12 誘導心電図検診判定マニュアル（2023 年度版）に記述不足があったためにここに追記し、追補版を発行したい。

複合所見（1）

心電図所見名・診断名	判定区分	日循協心電図コード 2005
左軸偏位 + 時計回転	C	2-1+9-4-2
左室高電位 + 右房負荷（拡大）	C	3-1 または 3-3+9-3-1
軽度 ST 低下 陰性 T 波	D	4-4+5-3

↓
ST 低下

↓
(4-2 または 4-3 または 4-4) + (5-2 または 5-3)

【理由】

通例 X-1 > X-2 > X-3 > X-4 の順で重症

4-1 は単独で判定 D、5-1 は単独で判定 D

4-2、4-3、4-4 はそれぞれ判定 C

5-2、5-3 はそれぞれ判定 C

4-4 + 5-3 というもっとも軽症の組み合わせのみ判定 D の記述の修正

【参考】

標準的な健診・保健指導プログラム【平成 30 年度版】 第 2 編別添 2-92 ページ

ST-T 変化（ミネソタコードで 4-1 から 4-3、5-1 から 5-3 等）が加わった場合は単独の場合より脳・心血管疾患の死亡リスクが高くなる